



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

資料提供

令和6年4月23日

課名 販売・連携推進課
担当 諫山
内線 3581
ダイヤルイン 082-513-3582

食の“稼ぐ力”ビジネスの創発支援プログラム 令和6年度「Hiroshima FOOD BATON」始動！

《募集期間 令和6年4月30日(火)～6月30日(日)》

募集イベント 令和6年5月16日(木)13:00～15:30

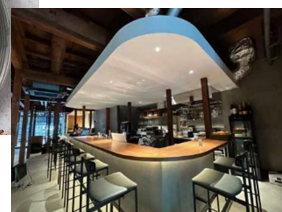
会場: 牡蠣と肉と酒 MURO(広島市中区三川町10-13)

広島県では、農水産事業者と多様な業種の企業が連携し、新たな「食」のビジネスを創発して農水産事業者の「稼ぐ力」を高めることを目的とした食のイノベーション推進事業を実施しています。

この度、本事業を推進するプログラム「Hiroshima FOOD BATON」の令和6年度の募集を令和6年4月30日(火)より開始します。なお、令和4年度及び令和5年度のプログラムが好評だったことから、今回より農業分野に加え水産分野にも対象を広げ、募集を受け付けます。

募集を開始するにあたって、応募を検討されている方向けに、本プログラムの募集案内やこれまでの取組経緯や成果の紹介、課題などを気軽に相談できる募集イベントを5月16日(木)に開催します。

県内農水産事業者や多様な業種の企業へ広く周知し、県内の農業・水産業の「稼ぐ力」を高めていきたいため、ぜひ取材していただきますよう、お願いします。



これまでの本事業での取組成果の一例

募集概要 ※年間スケジュールは2ページ目をご覧ください

- (1) 募集期間：令和6年4月30日(火)～6月30日(日)
- (2) 対象者：広島県内の農水産事業者、多様な業種の企業
- (3) 申込方法：次の特設サイトよりお申込みください。※ホームページは4月30日から閲覧可能
<https://www.hiroshima-ouen.com/hiroshima-foodbaton/>

募集イベントの概要 ※詳細については別途リリース予定です。

- (1) 日時：令和6年5月16日(木)13:00～15:30
- (2) 場所：牡蠣と肉と酒 MURO(広島市中区三川町10-13)
- (3) 内容：
 - ①第1部 プログラム募集案内、これまでの取組経緯や成果の説明
 - ②第2部 個別相談会、採択チーム(ATORA、FARMERS PROFIT)との商談・交流会
- (4) 参加申込：令和6年5月15日(水)までに、事務局メール宛に申込みください。
事務局メールアドレス hiroshima-food-baton@mhdf.co.jp

令和6年度の年間スケジュール

4/30 募集開始	6/30 募集締切	7月上旬 (予定) 一次審査	9月下旬 (予定) 3チーム採択発表	令和7年3月上旬 (予定) 成果報告会
--------------	--------------	-------------------	-----------------------	------------------------

募集



事業構想の立案

事業構想

農水産
事業者



多様な業種
の企業

稼ぐ力モデルを実現する
プロジェクトチーム組成・
実行計画の策定

事業立ち上げ・実証



食のイノベーション
事業立ち上げ・実証

令和6年度の支援内容

①採択プロジェクトチーム当り今年度最大300万円の事業補助

事業補助費を活用して新たな事業開発の初速を確保(※最長3年間支援)

②専門家による事業計画の具体化

イノベーション事業のプランニングに精通した専門家からのサポートを得ながら事業案の具体化・精緻化が可能

③事業パートナーマッチング

県庁や専門家のネットワークおよび本事業への賛同者等を通じ、今まで出会えなかった事業パートナー候補とのマッチングを支援

④専門家による事業化伴走

着実な計画の完遂に向け、イノベーション事業の立上げに精通した専門家がハンズオンで支援

⑤メディア認知獲得等のPR

本事業の継続的な発信・イベント活動により、新しいアイデアや取り組みに興味を持つメディアを通じてPR展開が可能

<連絡先>

■募集イベントに関すること

合同会社MHDF 広報担当

【事務局メール:hiroshima-food-baton@mhdf.co.jp】

■食のイノベーション推進事業に関すること

広島県農林水産局販売・連携推進課

課長

諫山 俊之 【電話: 082-513-3582】

これまでの採択チーム

R4年度採択チーム



プロジェクト名: HIROSHIMA HYBRID DESIGN



代表者: 小野 敏史 氏 株式会社ATORA 代表取締役社長

- ・ 高品質な冷凍食品の商品化で、食の新たな可能性を追求。
- ・ 比婆牛をはじめとした県産食材を使った新たなブランド価値創出モデルに挑戦！

【詳細はnote記事を参照】https://note.com/hiroshima_fb/n/nf2bed3a08068



プロジェクト名: comorebi commune



代表者: 小嶋 正太郎 氏 合同会社comorebi farm 代表社員

- ・ 因島で、柑橘の半農半Xによる耕作放棄地問題の解決を志向。
- ・ 東京のクリエイター等と連携したコミュニティ作りで新たな新規就農モデルに挑戦！

【詳細はnote記事を参照】https://note.com/hiroshima_fb/n/nfeba14f1f88d



プロジェクト名: 薬局DE野菜



代表者: 竹内 正智 氏 株式会社FARMERS PROFIT 代表取締役

- ・ 健康をテーマにした野菜販売の「棚」を調剤薬局に設置。
- ・ 機能性食品野菜の獲得による高付加価値化、市場性の高い野菜の生産者育成に挑戦！

【詳細はnote記事を参照】https://note.com/hiroshima_fb/n/ndb423666cb6e

R5年度採択チーム



プロジェクト名: Fair-Farm Credit



代表者: 本多 正樹 氏 株式会社Rev0 代表取締役

- ・ 温室効果ガス削減に寄与する水稲の中干し延長でクレジットを創出・販売。
- ・ 生産者主体で一次産業の脱炭素化の推進モデル創出に挑戦！

【詳細はnote記事を参照】https://note.com/hiroshima_fb/n/n290f72e6b223



プロジェクト名: MOTTAINAI BATON



代表者: 目取眞 興明 氏 MOTTAINAI BATON株式会社 代表取締役

- ・ 廃棄される「もったいない」食材を活用したレトルトカレーを企画・開発。
- ・ 学校の探究学習等を通じた「エシカル消費×地域活性化」モデル創出に挑戦！

【詳細はnote記事を参照】https://note.com/hiroshima_fb/n/n543b6d438935

プロジェクト名: FARM TO BABY



代表者: 矢野 智美 氏 一般社団法人KURU KURU 代表理事

- ・ 特定米穀（くず米）を用いた安価で栄養成分に配慮したベビー幼児フードを提供。
- ・ 農村ならではの食のこだわりで付加価値をつけ、地域発展モデルに挑戦！

【詳細はnote記事を参照】https://note.com/hiroshima_fb/n/nb588cff910f1

